

令和元年度第2回第6次碧南市総合計画第2分科会

議事要旨

日時	令和2年1月23日(木) 午後1時30分～午後3時10分	
場所	碧南市役所 7階 議員大会議室	
出席者 ■出席 □欠席	審議会 委員	<input type="checkbox"/> 河原厚司委員 ■鈴木たか子委員 ■禰宜田知司委員 <input checked="" type="checkbox"/> 長田和久委員 ■水野博史委員 ■奥村晋平委員 <input checked="" type="checkbox"/> 長田良次委員 ■榊原健委員 ■金原功委員 <input checked="" type="checkbox"/> 中根潮美委員 ■榊原由太郎委員 □杉浦優子委員
	事務局	生田経営企画課長、中川経営企画課長補佐兼政策推進係長、小林主査、鈴木主事、関係各課長
傍聴者	0名	
次第	1 経営企画課長あいさつ 2 第2章基本施策(案)について 3 意見交換 4 今後のスケジュール	
1 経営企画課長あいさつ	○経営企画課長よりあいさつ	
2 第2章基本施策(案)について	○事務局から資料説明	
意見交換		
委員	○8020達成者の増加を目指すところがあるが、厚生労働省では50%ぐらいが達成している一方、碧南市は昨年度で13%であるため、歯を残すためには自身の口の中のケアがとても重要であり口腔ケアという文言を入れてほしい。 ○乳幼児期における離乳食の与え方で、食べ物をお茶や飲み物で流し込んでしまうケースもある。健康課と相談して乳幼児期の口腔機能の育成ということにも力を入れてほしい。	
事務局	○文言の追加等、検討していきたい。	
委員	○基本政策の表現に現状・課題の表現が各課等で温度差がある。図などで進捗度合いが何か分かるものがあればなお良い。 ○課題への取り組み方の優先順位、緊急度合いの重要性について見える化していただけるとありがたい。 ○生涯学習が健康寿命の延伸に効果があり、場所さえ提供してくれれば自主運営を行うグループもいる。このような発想で認めてもらえるところがあれば様々な運用方法が広がると思う。	
事務局	○表現については、標準化を今進めている。 ○具体的な取り組みについては、個別の計画でお示ししたい。 ○自主的な活動を支援する事業として、条件があれば社会教育関係団体ということで施設の使用料を補助する仕組みなどもある。	

委員	○愛知県身体障害者福祉団体連合会に入れば、障害があっても、引き込まれずに自立した生活が送れると思う。ただ、皆さんが愛身連を知る機会がないので、地域の皆さんに宣伝をしていただきたい。
事務局	○一緒に何か考えられたらと思っている。
委員	○パラスポーツはスポーツ協会もレクリエーション協会を始めいろいろな団体と連携してやっていきたいと考えている。 ○今出ている施策の方針はやれば素晴らしいが、大きな方針も打ち出してほしい。 ○以前、心の健康、体の健康、まちの健康で日本一の健康都市を目指すというビジョンがあり、非常に良かったと思う。ああいったものがほしい。
事務局	○大きな方針を出して計画を作っていく方法もあるが、今回は皆様のご意見をいただきながら積み上げ、重点的な方向性を示していく計画にしたい。 ○健康寿命の延伸は大きなポイントという認識がある。
委員	○心の健康といった表現はあまり書いてない気がする。現代社会では非常に増えている部分なので気になった。 ○離婚の問題が多いと思うので、子育て支援の項目にひとり親の支援があるとよい。
事務局	○心の健康については精神疾患と心の健康ということで、へきなん健康づくり21プランの中で取り組んでいる。また、碧南市自殺対策計画の中でも、ストレスの関連と絡めて心の健康について推進している。総合計画には、記載していないので検討させてもらいたい。 ○こども子育て支援事業計画の中で、ひとり親支援に取り組んでおり、現在も相談員の職員を1人配置して、個別にいろいろな相談を受けている状況である。総合計画には、母子世帯の生活困窮や教育の関係も含めて、どういった表現ができるかは、今後調整させていただく。
委員	○文化協会の位置づけも明確になるため生涯学習の機会の拡充という方針の中に、文化協会をはじめとする社会教育団体の支援と表記いただきたい。 ○障害者の方たちの災害の避難、そのときの受け入れ体制という考えが及ぶような文言があるのではないか。 ○ページの右上にSDGsという言葉が出ているが、基本施策をみると文言の流れとしてはちょっと理解しにくい、異質なものが横並びに並べてあるように見え、違和感を感じる。
事務局	○文化協会については、また検討していきたい。 ○障害者の皆様との関係での災害の時のことは、また調整をしていきたい。 ○SDGsは、国連がさまざまな環境や社会問題がある中で誰一人取り残さないをキーワードとして最近出てきた取り組みであり、これまでの行政の取り組みとしても兼ねてからあった考え方であるため、総合計画の中でも意識して枠を設けている。

委員	<p>○計画の文章については、2行3行の短い文章なので、取り方によって違うものに可能性もあるため、所管の課長がしっかり精査する必要がある。</p> <p>○まちづくり指標について、目指す方向ということで矢印にしているのか。数値目標でないと市民からみるとわかりにくいのではないか。前回と同様の数値目標を出すのか。そういうことも含めて、しっかりと精査してもらいたい。</p>
事務局	<p>○現在、表現についてはさまざまに検討しており、ご意見として頂戴しておきたい。</p>
委員	<p>○子どもたちの子育ての支援については、切れ目のない取組が何よりも大切と感じている。なにより現場がいきいきする必要がある。</p> <p>○図書館の魅力を高めていくために、ソフト面の充実だけでなく、ハード面もある程度しっかりしないと魅力的にならない。活気ある講演会もなくなっており、魅力が少なくなってきた。</p>
事務局	<p>○ソフト面を含めて、図書館でも魅力ある活動を行っていききたいと日々考えている。これからもいろんなアイデアを出して、皆さんが来ていただけるようにしていきたい。</p>
委員	<p>○市民の要望をすべてそのまま聞いていたらいけない。限りある財源の配分が重要である。今の体制がいつまで続くかわからないので、将来も考えて総合計画を作っていただけたらありがたい。</p>
事務局	<p>○限りある財源を有効な形で活かしていきたいと考えています。</p>
委員	<p>○病院に来ない人がいる。健康診断が大事なのは働き盛りの世代、この辺を受診してもらえるように考えていかなければいけない。</p> <p>○身体障害といっても多種多様であり、一括りにせず幅広く見る必要があるため承知してほしい。外国人も日本語が話せないため考える必要がある。</p> <p>○市がやっている政策をみんな知らない。上手な宣伝ができておらず、宣伝能力の問題がある。</p>
事務局	<p>○ターゲットにピンポイントでどうやって情報を届けたらいいのか、引き続き検討していく。</p>
委員	<p>○地域文化の方針をみると、目指す姿はいいと思うが、箱物のことばかりが書いてあるため、もう少しお寺や神社などの地域文化の掘り起こしや再発見といった観点が必要だし、次の世代に伝えていく必要があると思う。</p>
事務局	<p>○物だけではなくて地域文化というのは、担い手である市民の皆様と行政と一体的に進めていくというところでも非常に重要な視点であるため、基本方針で検討していきたい。</p>